

チェコ

23

登録基準

文化遺産 ii、iv、vi

所在地

チェコ / プラハ市

登録年

1992



黄金と形容された町

プラハの歴史地区

登録範囲 チェコ西部、首都プラハの旧市街、新市街、プラハ城南側のマラー・ストラナ (小地区) からなる歴史地区



● カレル橋

新市街を造ったカレル1世

14世紀ボヘミア王カレル1世が、神聖ローマ帝国皇帝となったため、プラハは神聖ローマ帝国の首都となりました。カレル1世はプラハ城を再建し、それまで発展していた町（現在の旧市街）とは別に、新しい街を造りました。それが現在の新市街とプラハ城南側のマラー・ストラナ（小地区）です。

カレル1世はプラハの政情や経済を安定させ、芸術や教育を擁護しました。大きく繁栄したこの時代に、プラハは「黄金のプラハ」と称されました。

プラハに残る歴史的建造物

プラハのユダヤ人街の一角には、現存するヨーロッパ最古のシナゴグが残されています。「旧・新シナゴグ」と呼ばれ、ユダヤ教の礼拝堂兼学校として使われました。

旧市庁舎の塔にある2つの文字盤を持つ時計は、天動説を反映した天文時計です。正午には脇の小窓に十二使徒があらわれるしかけになっており、観光客の注目を集めています。

カレル1世によって石橋に架け替えられたカレル橋はヴルタヴァ川にかかる最古の橋で

す。ローマのサン・タンジェロ橋を手本に欄干には30体の像が飾られ、王の戴冠式の行進や馬上試合などが行われました。

フスの教皇批判とティーンの聖母聖堂

ボヘミア（現在のチェコ）では15世紀初頭にプラハ大学の学長であったヤン・フスが、カトリック教の世俗化を憂えて、教皇を批判しました。それに対してカトリック教会は1415年に開いたコンスタンツ公会議でフスを破門し、火刑に処しました。

フスの処刑に抗議したボヘミアの人々は、カトリック教会に対して反乱を起こし、反教皇のフス派を結成しました。この反乱を鎮圧しようとした神聖ローマ帝国やカトリック教会との間でフス戦争が起こり、プラハはその中心地になりました。

フス派の活動拠点となったのが、13～14世紀にかけて外国商人が寝泊りしていた地域に建てられたティーンティーンの聖母聖堂でした。この聖堂は小尖塔せんとうをつけた塔がファザードの両側にそびえる奇抜な姿をしています。

◎次の各問の解答として最も適切なものをア～エから選び、○で囲んでください。

- ① ボヘミアで教皇批判が起きたのはいつ頃ですか。
ア 14世紀後半 イ 15世紀初頭 ウ 16世紀初頭 エ 16世紀後半
- ② カレル1世が石橋にしたカレル橋は何という川にかかっていますか。
ア ライン川 イ ヴルタヴァ川 ウ ドナウ川 エ セーヌ川
- ③ カレル1世は何という国の皇帝になりましたか。
ア 西ローマ帝国 イ オスマン帝国 ウ ムガル帝国 エ 神聖ローマ帝国
- ④ 旧市庁舎の塔にある時計は天動説を反映した時計です。その時計は何といいますか。
ア 世界時計 イ 水時計 ウ 天文時計 エ 日時計

◎次の各問の空欄にあてはまる最も適切な語句を下の語群から選び、記入してください。

- ⑤ プラハは14世紀に神聖ローマ帝国の首都として栄え、()といわれました。

- ⑥ 右の写真はプラハ城南側にある()です。

- ⑦ ユダヤ教のシナゴグは礼拝所と()を兼ねています。

- ⑧ ティーンの聖母聖堂は、教皇批判を行った()の拠点になりました。



語群： 黄金のプラハ 花のプラハ マラー・ストラナ ダウン・タウン
 学校 病院 ティーン派 フス派



ティーンとは
「柵で囲った地域」の意味

- ① ドイツで始まった宗教改革より早く起きました。
- ② モルダウ川ともいわれます。
- ③ ドイツを中心にした帝国です。
- ④ 小地区のことです。
- ⑤ 子供や青年が通いました。
- ⑥ 宗教改革のきっかけになった人の名前です。



ラーベとカフカ

ドイツの作家ラーベは小説のなかに「プラハに魂のひとかけらを奪われてしまった」と書きました。「百塔の町」とか「北のローマ」、「ヨーロッパの音楽院」などと呼ばれるプラハは、町並みの美しさだけでなく、街角にただよう不思議な中世の雰囲気みづみづが人々を誘うようです。

プラハで生まれ育った文豪カフカは「プラハは私を離さない。母なる街が私を支配する。」と書き、占い師や錬金術師が住んだというマラー・ストラナに小部屋を借りて執筆に勤しみました。